



2024年8月30日

各 位

会 社 名 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 倉 田 潔
(コード番号：6063)
問 合 せ 先 執行役員企画部長兼IR室長 工 藤 信 幸
(TEL. 03-3811-8123)

ACS (Assistance Cloud Service) 関連事業の獲得に関するお知らせ

当社は、かねてより ACS 関連事業として取り組んでまいりました新規事業につきまして、この度、厚生労働省から「ローコーディングツール等を軸とした保守性・拡張性・連携性の高い現場視点の EMIS 代替サービス提供・運用等に係る業務一式」を受託する運びとなりましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 受託業務の概要

災害医療に利用される EMIS (広域災害・救急医療情報システム) は、災害時に DMAT (災害派遣医療チーム)、医療機関、厚生労働省や都道府県が迅速かつ適切に各種情報 (超急性期診療情報、急性期以降の患者受入情報、災害派遣医療チーム活動情報、医療搬送対象患者情報など) を集約・共有し、効果的な医療対応を行うために使用される我が国の災害時医療対応の要となるシステムです。

本業務は、EMIS 代替サービスの提供を通じて、現行 EMIS の課題である医療現場における保守性、拡張性、そして他のシステムとの連携性を高めることを目的としています。これにより、災害発生時における DMAT や医療機関の円滑な運用を支援し、迅速な医療対応の実現に寄与します。

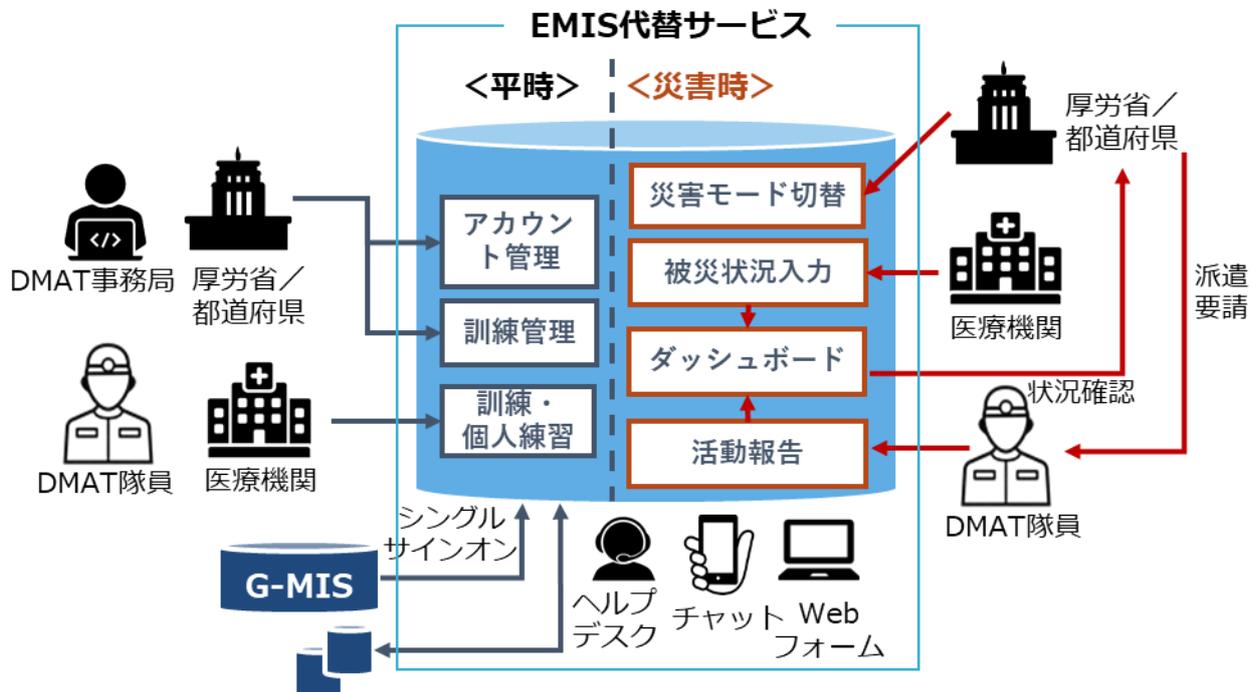
当社は、本業務においてローコーディングツールを活用し、迅速かつ効率的な開発を行うことで、現場の要望に柔軟に対応しつつ、コスト削減や使いやすさの向上を図り、災害時の情報連携を強化し、我が国の災害対応力の向上に大きく貢献することが期待されます。

EMIS 代替サービスが持つ機能は、平時においては医療機関情報や DMAT 隊員資格の更新等を整えつつ、災害に備えての訓練を実施します。災害時にはモードが切り替わり、医療機関の被災情報報告を基に行政が DMAT 隊員の派遣を要請し、DMAT 隊員が災害現場での活動を報告し、それらの最新の状況が全ての関係者にオンタイムで共有され、意思決定をサポートします。

また、システムのみならず、災害によりインターネットが使えない環境に陥った場合などに備えて人とシステムのハイブリッドなサポート体制や訓練のサポート、ヘルプデスクや改善提案等も含有するサービスとして提供いたします。

当社は、今後この事業で提供する技術力や業務遂行能力をさらに高め、我が国の災害対策分野における幅広い貢献を目指してまいります。

《EMIS 代替サービス概略図》



2. 受託契約の内容

- ①事業名： ローコーディングツール等を軸とした保守性・拡張性・連携性の高い現場視点のEMIS 代替サービス提供・運用等に係る業務一式
- ②委託者名： 厚生労働省
- ③契約金額： 約 220 百万円（税込）の見込み
- ④契約期間： 2024 年 9 月（予定）から 2025 年 3 月末

3. 今後の見通し

本事業年度における当該事業に係る収益は 120 百万円程度を見込んでおります。
当該収益の見込額につきましては、2024 年 8 月 20 日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」における予想値に織り込み済みであります。
また、次年度以降はヘルプデスクの 24 時間対応等の事業拡大を見据え、複数年にわたる継続受注を目指してまいります。

以上